



## 2. 重要な基本的注意及び相互作用

<改訂部分抜粋>

下線部分を改訂いたしました(\_\_\_\_部分を追加)。

改訂後	改訂前												
<p><b>2.重要な基本的注意</b>                      (1)～(6)：省略(変更なし)                      (7) 本剤とホスホジエステラーゼ5阻害作用を有する薬剤(シルденаフィルクエン酸塩、バルデナフィル塩酸塩水和物、タダラフィル) <u>又はグアニル酸シクラーゼ刺激作用を有する薬剤(リオシグアト)</u>との併用により降圧作用が増強し、過度に血圧を低下させることがあるので、本剤投与前にこれらの薬剤を服用していないことを十分確認すること。また、本剤投与中及び投与後においてこれらの薬剤を服用しないよう十分注意すること。</p>	<p><b>2.重要な基本的注意</b>                      (1)～(6)：省略                      (7) 本剤とホスホジエステラーゼ5阻害作用を有する薬剤(シルденаフィルクエン酸塩、バルデナフィル塩酸塩水和物、タダラフィル)との併用により降圧作用が増強し、過度に血圧を低下させることがあるので、本剤投与前にこれらの薬剤を服用していないことを十分確認すること。また、本剤投与中及び投与後においてこれらの薬剤を服用しないよう十分注意すること。</p>												
<p><b>3.相互作用</b>                      (1)併用禁忌(併用しないこと)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">薬剤名等</th> <th style="text-align: center;">臨床症状・措置方法</th> <th style="text-align: center;">機序・危険因子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <p>ホスホジエステラーゼ5阻害作用を有する薬剤                              シルденаフィルクエン酸塩(バイアグラ<sup>®</sup>、レバチオ<sup>®</sup>)、バルデナフィル塩酸塩水和物(レビトラ<sup>®</sup>)、タダラフィル(シアリス<sup>®</sup>)、アドシルカ<sup>®</sup>、ザルティア<sup>®</sup>)</p> </td> <td style="vertical-align: top;"> <p>併用により、降圧作用を増強することがある。</p> </td> <td style="vertical-align: top;"> <p>本剤は cGMP の産生を促進し、一方、ホスホジエステラーゼ5阻害作用を有する薬剤は cGMP の分解を抑制することから、両剤の併用により cGMP の増大を介する本剤の降圧作用が増強する。</p> </td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">省略(変更あり：1. 禁忌及び併用禁忌 参照)</p>	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	<p>ホスホジエステラーゼ5阻害作用を有する薬剤                              シルденаフィルクエン酸塩(バイアグラ<sup>®</sup>、レバチオ<sup>®</sup>)、バルデナフィル塩酸塩水和物(レビトラ<sup>®</sup>)、タダラフィル(シアリス<sup>®</sup>)、アドシルカ<sup>®</sup>、ザルティア<sup>®</sup>)</p>	<p>併用により、降圧作用を増強することがある。</p>	<p>本剤は cGMP の産生を促進し、一方、ホスホジエステラーゼ5阻害作用を有する薬剤は cGMP の分解を抑制することから、両剤の併用により cGMP の増大を介する本剤の降圧作用が増強する。</p>	<p><b>3.相互作用</b>                      (1)併用禁忌(併用しないこと)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">薬剤名等</th> <th style="text-align: center;">臨床症状・措置方法</th> <th style="text-align: center;">機序・危険因子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <p>ホスホジエステラーゼ5阻害作用を有する薬剤                              シルденаフィルクエン酸塩(バイアグラ<sup>®</sup>)、バルデナフィル塩酸塩水和物(レビトラ<sup>®</sup>)、タダラフィル(シアリス<sup>®</sup>)</p> </td> <td style="vertical-align: top;"> <p>併用により、降圧作用を増強することがある。</p> </td> <td style="vertical-align: top;"> <p>本剤は cGMP の産生を促進し、一方、ホスホジエステラーゼ5阻害作用を有する薬剤は cGMP の分解を抑制することから、両剤の併用により cGMP の増大を介する本剤の降圧作用が増強する。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	<p>ホスホジエステラーゼ5阻害作用を有する薬剤                              シルденаフィルクエン酸塩(バイアグラ<sup>®</sup>)、バルデナフィル塩酸塩水和物(レビトラ<sup>®</sup>)、タダラフィル(シアリス<sup>®</sup>)</p>	<p>併用により、降圧作用を増強することがある。</p>	<p>本剤は cGMP の産生を促進し、一方、ホスホジエステラーゼ5阻害作用を有する薬剤は cGMP の分解を抑制することから、両剤の併用により cGMP の増大を介する本剤の降圧作用が増強する。</p>
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子											
<p>ホスホジエステラーゼ5阻害作用を有する薬剤                              シルденаフィルクエン酸塩(バイアグラ<sup>®</sup>、レバチオ<sup>®</sup>)、バルデナフィル塩酸塩水和物(レビトラ<sup>®</sup>)、タダラフィル(シアリス<sup>®</sup>)、アドシルカ<sup>®</sup>、ザルティア<sup>®</sup>)</p>	<p>併用により、降圧作用を増強することがある。</p>	<p>本剤は cGMP の産生を促進し、一方、ホスホジエステラーゼ5阻害作用を有する薬剤は cGMP の分解を抑制することから、両剤の併用により cGMP の増大を介する本剤の降圧作用が増強する。</p>											
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子											
<p>ホスホジエステラーゼ5阻害作用を有する薬剤                              シルденаフィルクエン酸塩(バイアグラ<sup>®</sup>)、バルデナフィル塩酸塩水和物(レビトラ<sup>®</sup>)、タダラフィル(シアリス<sup>®</sup>)</p>	<p>併用により、降圧作用を増強することがある。</p>	<p>本剤は cGMP の産生を促進し、一方、ホスホジエステラーゼ5阻害作用を有する薬剤は cGMP の分解を抑制することから、両剤の併用により cGMP の増大を介する本剤の降圧作用が増強する。</p>											

**改訂理由** 【禁忌】及び「併用禁忌」の改訂に伴い、「重要な基本的注意」の項に、『グアニル酸シクラーゼ刺激作用を有する薬剤(リオシグアト)』を追記いたしました。また、ホスホジエステラーゼ5阻害作用を有する薬剤の代表的薬剤名として、シルденаフィルクエン酸塩に『レバチオ<sup>®</sup>』、タダラフィルに『アドシルカ<sup>®</sup>』、『ザルティア<sup>®</sup>』を追記いたしました。